

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

心房細動カテーテルアブレーション治療症例の冠動脈疾患合併についての研究

1. 研究の対象

2017年1月1日から2019年12月31日までの間に当院循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーションの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：心房細動は高齢になればなるほど罹患率があがるとされており、脳梗塞、心不全の原因になると報告されています。心房細動の原因として、加齢、喫煙、飲酒、高血圧などが指摘されており、その発症危険因子は冠動脈疾患と同様であり、長期間フォローを行うと、心筋梗塞の発症が非心房細動患者に比して有意に多いとされています。しかしながら、心房細動発症初期の冠動脈冠動脈疾患合併に対する検討はされていないのが現状であり、この研究を通じて有病率、発症危険因子を同定することを目的としています。

方法：アブレーション時に必要な左房構築、肺静脈形態の評価は術前造影 CT にて行われます。現在 CT 画像構築の進歩により、それに加えて冠動脈評価も同時に行うことが可能となってきており、その画像を用いて冠動脈疾患合併率を探索します。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：患者情報（診断名、年齢、性別、治療歴など）、検査結果（CT データ、血液検査、心電図など）

4. 情報の提供先・提供方法

提供予定はありません

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5125）

研究責任者 内科学系循環器内科学 村上 力

問い合わせ担当者 内科学系循環器内科学 村上 力

-----以上